

大迫研究 成果報告レター

(健康づくりフロンティア事業) Vol.3 (2022年3月作成)



2022年度の健康づくりフロンティア事業

2021年度の健康づくりフロンティア事業は、新型コロナウイルス感染防止対策のため規模を縮小して実施されました。2022年1月にはオミクロン株の感染者が急増し、いまだに出口が見えません。一方、今年度のフロンティア事業は実施する方向で進めていますので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



大学の取り組み（大迫研究の成果）

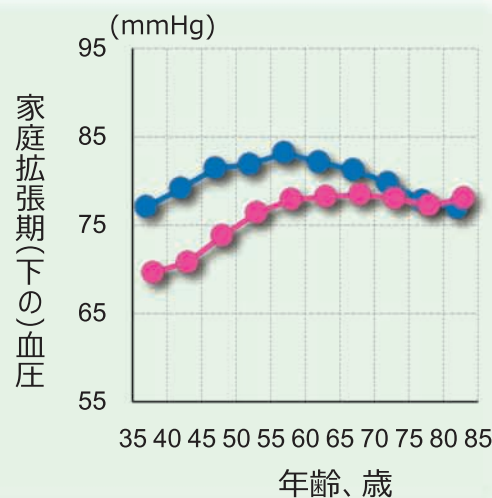
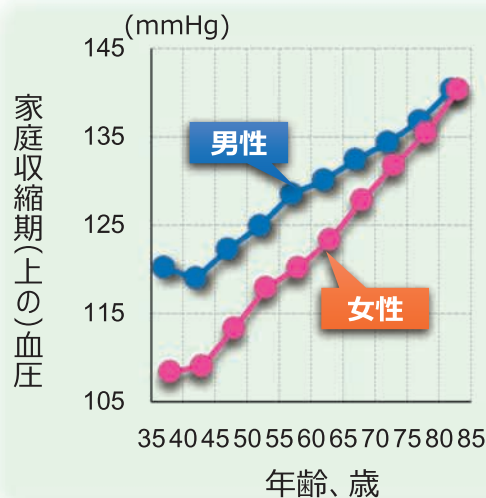
コロナ禍の状況は続いておりますが、大学ではできることをしなければと考え、皆様から同意の上でいただいた大切な健康情報を解析しております。最近、世界へ報告した新たな研究結果を下記にご紹介いたします。

なお、現在も、帝京大学が中心となり、東北大学、東北医科薬科大学、岩手医科大学、秋田大学などのその他多くの大学機関の協力も得て継続しております。

年齢と共に上の血圧と下の血圧はどうなる？

大迫町住民の皆様には、長年にわたって家庭血圧を測定いただいております。その家庭血圧の値を“加齢の変化”という視点で分析しました。

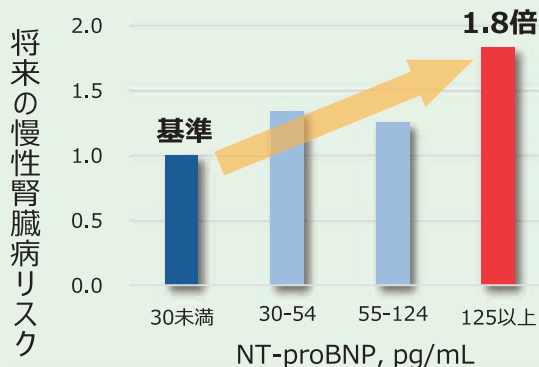
上の血圧(左図)とは異なり、下の血圧(右図)は、60歳を境に低下しています。つまり、上と下の血圧の差である“脈圧”が、60歳以降に広がっていきますが、これは動脈硬化の影響といわれています。



※本研究データの詳細はVol 2で解説しています。

Satoh M, et al. J Am Heart Assoc. 2019.

心臓の検査値が将来の腎臓病に関連？



腎臓は、背中側の腰より少し上に左右に1個ずつある内臓です。おしっこを作って体の中の老廃物や余分な水分を出してくれるだけでなく、血圧やミネラルの調整、血を造るのに必要なホルモンを出したりと、多くの働きをしています。そのため、健康寿命を延ばすためには腎臓を守ることがとても大切です。

中山医師(自己紹介文は裏面)による大迫研究データの分析で、「NT-proBNP」が高い人は慢性腎臓病に将来なりやすい可能性がわかりました。「NT-proBNP」という検査値は、主に心不全の指標とされる検査値ですが、腎臓悪化の予測など様々な可能性を秘めているかもしれません。今後のさらなる研究が望まれます。

(文責：東北医科薬科大学医学部 衛生学・公衆衛生学教室 助教 佐藤倫広)

Nakayama S, et al. Circ Rep. 2020.

※「かわいいフリー素材集 いらすとや」<https://www.irasutoya.com/>のイラストを使用しております。

大迫研究関係者からのご挨拶



本事業へご参加および大迫研究へご協力いただいた住民の方のおかげと心より感謝いたしております。大迫で診療と研究を行っている医師は私の門下生です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人 東北 hypertension 管理協会 理事長 今井 潤

2020年より大迫地域診療センターで月数回診察をさせていただいております。下記の当教室スタッフと共に、本事業を継続し、大迫町住民皆様の健康を少しでも支えられるよう尽力して参りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

東北医科薬科大学医学部衛生学・公衆衛生学教室
教授 目時 弘仁 (めとき ひろひと)



脳MRI検査受診者に後日実施する、歯科検査を担当しております。歯について疑問に思ったことをお気軽にご相談下さい。

同教室 助教 村上 任尚
(むらかみ たかひさ)

本事業で皆様にお世話になっている薬剤師です。この顔を見かけたらお気軽にお話しください！

同教室 助教 佐藤 倫広
(さとう みちひろ)

防衛医科大学校出身ですが、現在は東北医科薬科大学で腎臓内科医をしています。大迫研究に同意いただいた方々の貴重なデータを分析させていただき、表面にある成果を報告いたしました。今後も皆様の健康に役立つ研究を進めて参ります。

東北医科薬科大学 腎臓内分泌内科
助教 中山 晋吾 (なかやま しんご)

大迫研究のロゴができました！



今回大学側で検討し、大迫研究のロゴを作成しました。大迫研究の特徴である家庭血圧、窓の外には早池峰山をイメージしたロゴです。色はいくつかありますが、左図は大迫町名産の一つであるブドウの色をイメージして作成しました。

大迫研究 代表責任者より

新型コロナウイルスの影響で日常生活も制限を強いられるような日々が続いています。可能な感染対策を講じて事業を進めていければと考えていますが、今後の状況を注視していく必要があります。皆様も運動不足や食生活の乱れなどに注意して、健康な身体を保ちましょう。

帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座
主任教授 大久保 孝義

